

施設評価シート（ごみ処理施設）

005

（平成21年度事業）

施設名	クリーンセンター備前		問	担当課(室)	環境課	
			先	職・氏名	古松健二	
				電話	(0869)64-1821	
所在地	備前市八木山859番地4		所	所属長職・氏名	課長・森本和成	
				このシート作成に要した時間	3.0 時間	
建物建設費	2,232,010 千円	財	国県等補助金	221,331 千円	建設年月	平成 10 年 3 月
		源	市債・一般財源等	2,010,679 千円	耐用年数	20 年

根拠法令等の有無	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	名称	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
総合計画上の位置付け	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	施策	14 ごみ処理	事務事業名	02 ごみ処理施設管理事業

対象	（この施設運営によりサービスを受けるのは誰か？） 一般廃棄物の処理を必要とする市民・市内業者		
目的・意図する成果	（この施設運営によってどのような状態を目指しているのか？） 適正かつ効率的に処理することにより、生活環境の保全につなげる。		
施設内容 規模 ごみ処理手数料	施設内容	規模	ごみ処理手数料(直近の改定:平成20年4月)
	工場棟・管理棟	延床面積 1899.25㎡ 焼却施設 34t/日(8時間) 17t/日×2炉	市指定ごみ袋 20円/20リットル 30円/30リットル
		機械化パッチ焼却炉	45円/45リットル
	車庫棟	延床面積 597.25㎡	直接持込み 100円/10kg
			粗大ごみ(個別収集) 200円～2,000円(品目により料金が異なる)
管理運営方法	<input type="radio"/> 一部委託 <input checked="" type="radio"/> すべて直営 (一部委託の内容)		

経費	項目	平成19年度実績		平成20年度実績		平成21年度実績		単位
	人件費	正規職員	3.5 人	26,081	4.0 人	26,590	3.8 人	
	臨時職員	0.0 人	0	0.0 人	0	0.0 人	0	人/千円
	維持補修費		32,784		32,907		53,361	千円
	物件費		34,253		34,380		29,651	千円
	その他(負担金等)		228		207		208	千円
	減価償却費		90,481		90,481		90,481	千円
	合計		183,827		184,565		199,535	千円
財源	ごみ処理手数料		43,138		41,728		43,499	千円
	一般財源		140,689		142,837		156,036	千円
	人口(備前地域)		27,249		26,802		26,509	人
	1人当たりコスト(一般財源)		5,163		5,329		5,886	円
	受益者負担率		23.5%		22.6%		21.8%	%

施設の効率性	受益者負担は適正か？	設定受益者負担率 %	
	<input type="radio"/> 適正である <input checked="" type="radio"/> 見直す余地がある <input type="radio"/> 受益者負担は求められない	判断理由	一般市民の負担については妥当と考えられるが、事業者ごみについては、排出抑制の点からも、見直す余地がある。
	管理運営に係るコストを削減する余地はあるか？		
	<input type="radio"/> 削減の余地はある <input checked="" type="radio"/> 削減の余地はほとんどない	判断理由	光熱水費・燃料費等の管理コストについては、有効な削減に努めているが、焼却炉の改修等維持補修費については、競争入札等の導入により削減に努めるが、削減の余地はほとんどない。

稼働実績	平成21年度 (単位:日, t, 千円)			
	項目\月	H19	H20	H21
	焼却日数	256	266	261
	焼却量	7,358	7,081	6,893
	1日当たりの焼却量	28.7	26.6	26.4
	経費	183,827	184,565	199,535
	1t当たりの経費	24,983	26,065	28,947

平成22年度の状況及び管理運営の改善案	備前広域環境施設組合の解散により、現有施設でのごみ処理が必要となったため、新たなごみ分別により、焼却ごみの減量化を行い、施設の延命化を図る。
---------------------	--

施設修繕・大規模改修費用(今後5年間:平成23年度から平成27年度)					
毎年経常的に必要な修繕費	内容	金額(千円)	今後5年間に必要となる大規模改修費	内容	金額(千円)
	焼却炉改修工事費	50,000		灰貯留施設・灰出設備改修	119,385

判定	<input type="checkbox"/> 全面委託が可能 <input type="checkbox"/> 事務等一部委託が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 現在の管理運営形態が望ましい	判定理由	施設の管理運営を委託にすれば、施設の状況がつかみにくくなり、施設の補修など委託者の言いなりになる恐れがあり、経費が増大することが予想される。
----	---	------	--

総合コメント	備前広域環境施設組合の解散に伴い、単市でごみ処理を行わなければならない。そのためには、現有施設を有効的かつ長期に使用しなければならない。ごみの焼却量を減らし現在のごみ分別を見直し新たなごみ分別によりごみの減量化、資源化を推進し施設の延命化を図る必要がある。
--------	--